

第 1 回「函館TOM向上推進事業」映像制作検討懇話会

函館TOM向上推進事業

T=Town(まち) O=Others(他人) M=myself(自分)

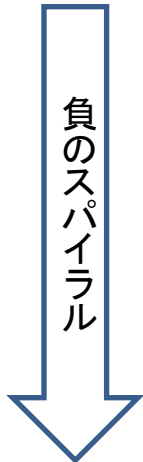
→ 市政執行方針の「まちを大切に ひとを大切に 自分を大切に」から

函館市・函館市教育委員会



明るいニュースはあるものの、
ネガティブ要素や悪いニュースがクローズアップされがち

市民意識



漠然とした閉塞感や先行きへの不安感が渦巻く

市民の函館に対する将来への期待感が減少

まちの活力や魅力の著しい低下を招く

歴史

人物

まちの
ありよう

客観的
評価

函館の
将来像

- 先人達が築いた素晴らしい函館の歴史や函館の魅力・現状などを正しく認識すること
- 地域・他人・自分を愛すること

まちを大切に・人を大切に・自分を大切に



函館のまちに対する誇りや地域愛の醸成

参考：シビックプライド

シビックプライド（Civic Pride）」は都市に対する市民の誇りを指す言葉。

日本語の「郷土愛」といった言葉と似ているが、単に地域に対する愛着を示すだけではない。

「シビック（市民の／都市の）」には権利と義務を持って活動する主体としての市民性という意味があり、自分自身が関わって地域を良くしていこうとする、ある種の当事者意識に基づく自負心を指す。

（伊藤香織 東京理科大学教授 シビックプライド研究会 代表）

地域に対する愛着の醸成がまちにもたらす効果

- ・ 函館人の気質が前向きに ～ ポジティブシンキング
- ・ まちの未来のために自らが行動
- ・ まちづくりへの積極的な参画
- ・ 定住化の促進
- ・ 市民以外への魅力発信～シティプロモーション・移住促進
- ・ 函館の発展に資する人材の育成

新たなまちの
再生・活性化への
動機づけ・意識づけ

など



【函館市基本構想】 まちの魅力を新たに創り出し、さらに高めて、次世代へ継承

【函館市学校教育推進の指針】

心豊かに学び 共に未来のふるさとを拓く子どもをはぐくむ

<めざす子ども像> □ ふるさとのよさを見付け、誇りをもち、先人の生き方に学び、
進取の精神をもって新たな文化を創造する子どもをはぐくみます。

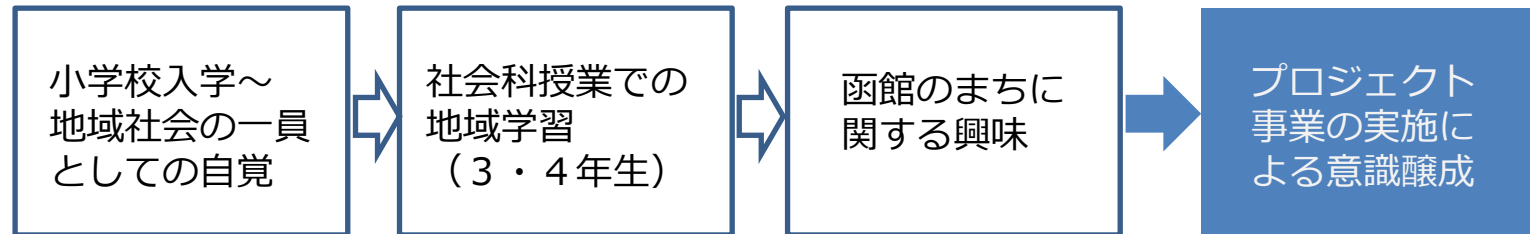


大人たちの
再認識や意識改革も
必要だが

**特に次世代を担う
子どもたちへのアプローチ
が不可欠**

次世代を担う子どもたちへのアプローチ プロジェクト事業の考え方

先人達から脈々と受け継がれてきた
函館の歴史・風土・産業・人・まちの素晴らしさを伝え、
函館への誇りや地域愛を醸成し、
新たなまちの未来をつくる人材を育てる



プロジェクト第1弾事業案「小学生向け意識啓発映像(DVD)の製作」
その他効果的なプロジェクト事業を順次企画・実施

事業展開

Step 1

方向性の確認 (H28)

Step 2

戦略の検討 (H29)

- 第1弾プロジェクト「函館TOM向上推進事業」映像製作検討懇話会の実施
- 若手職員・大学生による効果的なプロジェクト展開検討ワーキングチームの実施
- キックオフ事業として小学生（3～6年生）向けワークショップの開催

Step 3

プロジェクト事業の展開 (H30～)

- 第1弾プロジェクト「小学生向け意識啓発映像(DVD)」の製作
- 保護者・市民向け講演会の開催
- 児童生徒向け「まちづくりワークショップ」の実施
- 生涯学習用コンテンツの製作

NextStage・・・

大人向け事業として、函館のネガティブ要素改善に向けた各種取組み
(自殺率低下, 交通マナー向上, ガン検診受診率向上など)

(その他事業例)

○「函館TOM向上推進事業」映像制作検討懇話会

会議形態	はこだて愛着向上プロジェクトの第1弾事業として検討する「小学生向け意識啓発映像(DVD)」の具体的な制作方針や内容、手法などについて、有識者による検討会議を実施する。	
実施回数	検討懇話会	5回程度
メンバー	9名(学識経験者, 専門的知識, 各種団体, 事業経験)	
スケジュール	6月28日	第1回検討懇話会の開催 ・函館TOM向上推進事業について ・意見交換
	7月下旬	第2回検討懇話会の開催 ・盛り込むべき事項(歴史・人物・産業)
	8月下旬	第3回検討懇話会の開催 ・盛り込むべき事項(芸術文化・出来事・将来像・その他)
	9月下旬	第4回検討懇話会の開催 ・映像制作に関する形態 ・DVDと併せて取り組むべき事 ・DVD以外の映像コンテンツ手法
	10月中旬	第5回検討懇話会の開催 ・追加意見 ・まとめ

○「小学生向け意識啓発映像(DVD)」の制作イメージ(案)

- 目的** 本市の次世代を担う小学生を対象に、函館の歴史や文化、都市の状況などを学習できる内容のDVD教材を作成・活用することで、函館に対する誇りや地域愛の醸成を図る。
- 作成内容** 函館の歴史、人、まちの様子、将来像などを小学生向けに理解しやすいよう、平易かつメッセージ性の高い内容とする。
また、現在、本市の小学校において行われている3・4年生向け社会科副読本「わたしたちの函館」を活用した地域学習や、6年生での歴史学習などと連動した授業での活用を図る。
- 作成数** 200部 市内46小学校へ配布
- 作成方法** 有識者からなる映像制作検討懇話会にて基本方針や内容、制作手法などについて検討
- スケジュール** 平成29年度に実施内容を検討し、制作は30年度事業化を目指す。

(参考：映像制作に関する類型)

形態	
1	教育番組スタイル
2	プロモーションビデオ(PV)スタイル
3	自治体広報番組スタイル
4	短編映画(ドキュメンタリー)スタイル
5	短編映画(ドラマ)スタイル
6	アニメーションスタイル など

○ プロジェクト展開検討ワーキングチーム（案）

- 会議形態
- ・次年度以降の効果的な事業展開に関する検討を行うための会議を実施
 - ・メンバーは将来の函館市政を担う市若手職員10名程度・市内大学生6名程度
 - ・1グループ5名（うち2名は大学生）の3グループ
- 実施回数
- 5回程度
- 会議内容
- 第1回目（9月下旬）
- ・会議の趣旨説明
 - ・リーダー選出，グループの決定
 - ・今後のスケジュール，作業の説明
- 第2回目（10月上旬）
- ・市の歴史について学ぶ，現状把握
- 第3回目（10月下旬）
- ・グループごとにプロジェクトアイディアの検討
- 第4回目（11月中旬）
- ・グループごとにプロジェクトアイディアの検討
- 第5回目（12月中旬）
- ・報告会の開催

○ キックオフ事業 小学生(3～6年生)向けワークショップ (案)

開催趣旨	事業の展開にあたり、まちに対する誇りや地域愛を醸成することで、まちの魅力を向上・発信し次世代に継承する役割を担う人材を育てることを目的に、小学生を対象としたワークショップを開催する。
実施日時	平成29年7月27日(木) 13:30～15:00
場 所	Gスクエア(シエスタハコダテ4F)
対 象 者	小学生(3～6年生)15名(※保護者同伴可)
主 催	函館市
協 力	公立はこだて未来大学
内 容	テーマ「発信力アップ! はこだての魅力を伝えよう」 <ul style="list-style-type: none">・東京に住む小学生Aくん(ペルソナ像)に対し、はこだての魅力を伝える・地域の魅力を伝えるためには、知ること、理解すること、そして好きになる・地域の魅力を伝えることで発信力の向上を目指す ※ペルソナ像とは・・・ 仮想的に作り上げた典型的なユーザー像